

民族藝術学会第 92 回東京例会

◇日時 2020 年 12 月 5 日（土）14 時～17 時

オンラインによる開催（事前申込みが必要です）

民族藝術学会 HP (<https://mg-gakkai.org/>) からご登録ください。

講演「声明（仏教声楽）の旋律生成の仕組みと理論化—平安・鎌倉期を中心に—」

◇講演者 澤田篤子（洗足学園音楽大学教授・大阪教育大学名誉教授）

◇概要

声明の旋律は、本来、その歌詞を構成する各字の音韻に由来するものだが、声明の理論の構築にあたり、雅楽の理論を援用し、また仏教、五行陰陽等の解釈も加わって難解になり、机上の空論とさえ言われることもある。しかしその旋律面に関する理論は、旋律を動的に捉えた声楽曲独自の発想から生み出され、現行の声明旋律の説明に耐えうるものである。中世以降の仏教声楽を含む声楽諸分野の旋律形成にも多大な影響を与えたのは、ひとつには声の音楽の実態に即した理論であったためと言えよう。

本研究では、今日に伝わる声明理論の形成・体系化が試みられた平安期から鎌倉期に至る時期に注目し、最古の声明理論書とされる湛智の『声明用心集』、およびその発想の礎となったと考えられる安然の『悉曇藏』を主軸に据え、さらに両師の他の著作およびその他の関連文献を比較検討することにより、当時の声明の旋律生成の仕組みを明かし、その理論化の過程の解明を試みるものである。